

各 位

2017年1月4日
蝶理株式会社
経営政策部
(IR・広報課)

蝶理株式会社 先瀆社長 年頭の辞（要旨）

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

昨年は英国のEU離脱、トランプ大統領誕生と世界中の予想を覆した大きな二つの出来事がありました。反グローバル主義、反自由貿易、保護主義が高まっている結果だという見解が多くみられました。結果としてTPPが難しくなりました。しかしながら、現状では、当社を取り巻く環境に大きな変化があるとは感じておりません。また、変化があったとしても、変化の中に必ずチャンスがあると認識し、変化を怖がらずに適確に受け止め、将来の目標に向かって着実に一步ずつ進めることが重要と考えます。

現下、中期経営計画「躍進2016」の仕上げが最重要課題です。上期ですが、順調な業績を計上することができました。11月のアメリカ大統領選後の為替の大きな動きや市場環境も決して良くない中ですが、通期業績予想達成の範囲に入っており、過去最高益を更新できる位置にあります。

次年度である2017年度からの蝶理の新たな指標となる、次期中期経営計画の策定を進めています。重要なステークホルダーである社員の処遇の改善を様々な観点から議論されています。「CHOI 活」（業務効率化・経費合理化活動）を中心とした経費削減や効率化といった地道な日々の努力の積み重ねが業績に反映され、結果として社員の待遇改善に結び付けます。

事業面での大方針は、「連結経営基盤強化」、「人的基盤強化」、「M&A・新規開発・事業投資促進」を柱にしてグローバルに進化することには変わりはありません。「躍進2016」の3年間で磨いてきた連結グローバル経営・事業軸運営をより深く進めます。もう一つ重要な事は、足元の変化、事業環境の変化に対応した組織の進化です。様々な状況の変化に即応して、機動的・能動的に社内の組織も変えていかなければなりません。今を変えなければ、未来は変えることは出来ないと認識しています。

繊維事業、化学品・機械事業共に今年4月1日から新しい体制になります。繊維事業は2

本部体制から3本部体制へ移行します。

- ・現状、すでに方向性が決まっています、それに沿って進むことで成長が見込める本部
- ・新しいサプライチェーンを構築し、新しい出口戦略を推進することで事業を拡大していく本部
- ・顕在化した市場の大きな変化に対応して、事業モデルを変革し、これまで培ってきた専門性、企画力に機動性を具備して、進化、拡大を図る本部

の3本部です。今後も変化に対応してフレキシブルに組織を見直し、伝統ある繊維事業の更なる強化を進めていきます。

化学品・機械事業の人事も含めた新体制は、事業軸運営を更に進化させて、海外を含めたネットワーク、販売チャンネルの強化、拡大することで、まさに「殻を破る」ための新体制です。

新体制の準備は始まっています。組織をヨットに例えると、新しい船ができて、乗組員である社員が団結しなければ、船は上手く風をつかんで、早く安全に走る事は出来ません。また、さらに高い目標を目指すためには、その目標をしっかりと全員で共有することが重要です。

繰り返しになりますが、これからの3ヵ月間は「躍進2016」をしっかりと仕上げながら、4月1日の船出に向けた準備期間とします。

今年一年、健康に気をつけて一緒に頑張りましょう。

以上